

多文化共修



social.impact
tsukuba

日本で、世界で、社会にインパクトを！学内、国内、そして世界を舞台にした様々な活動に参加して、グローバルな視野と実践力を獲得しませんか？言語や専門の異なる多文化なメンバーで活動を通じて得た体験は、必ず皆さんの糧になります。活動の成果は、オープンバッジとしてeポートフォリオに残し、一生モノの証明書となります。各種海外派遣奨学金も活用可能！行動して未来をつくる皆様の挑戦を応援します。

興味や希望に合わせて、どの段階からでも参加できます！



RUN-UP
(ランアップ)

グローバルマインドを 筑波大学のキャンパスで培う



HOP
(ホップ)

日本を舞台に 現地の問題に取り組む



STEP
(ステップ)

海外を舞台に グローバルな問題に取り組む



JUMP
(ジャンプ)

さらなる挑戦、社会・次世代に貢献する



DOJO, GASSHUKU
における多文化共修

日本人学生と外国人学生の協働による問題解決型学習
(Problem-based Learning)



筑波大学ソーシャルインパクト推進室

k-kyoshu@un.tsukuba.ac.jp

<http://social-impact.projects.tsukuba.ac.jp>



「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業(文部科学省)」では、大学等が教育研究活動を行う国内外の地域における課題を取り上げ、その課題の抽出、分析、解決策の検討・提案、そして社会への実装までのプロセスにおいて、日本人学生と外国人学生が互いの文化的背景を活かして共に学ぶことを「多文化共修」と位置づけています。

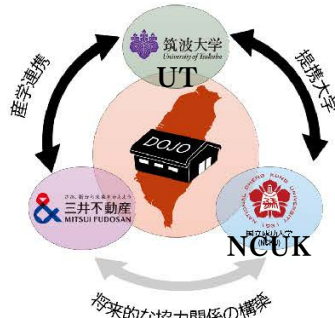
※以下のプログラムは令和7年度に行われた実例です。毎年同じ内容で募集があるとは限りません。

台湾DOJO ショッピング文化について



台湾のららぽーとから探る！

充実した共修実施のための体制づくり



① 到着@高雄: さっそく台湾でのショッピング文化を体験！

2月9日
~
2月10日



② フィールドワーク@台中: NCKUの学生が合流し、ららぽーと台中で一緒に調査！

2月10日
~
2月13日



③ 提案の協働作成@台南: NCKUの都市計画学科とUTの学生がプロポーザルを一緒に作成！

2月13日
~
2月15日



④ ステークホルダーへのプレゼンテーション: 現地の都市計画関係者や三井不動産社員に、作成した提案を発表！

2月15日



今回都市計画系のトピックだったが、専門知識の違いや、言語の違いという点で難しさがあった。特に、外国語でコミュニケーションをとることの難しさを痛感したが、それも今回の活動の一つの醍醐味だったと思う。とても貴重な体験が出来た。

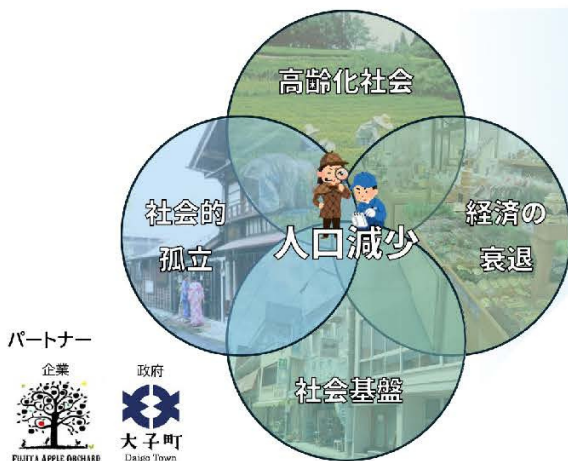


活動中、台湾の人たちの優しさに触れ、言葉の壁によって自分がそれに返せないことへのもどかしさや口惜しさもあった。もっと言語や専門分野を勉強をして、世界を見て活躍していきたいというモチベーションを高めることが出来た。

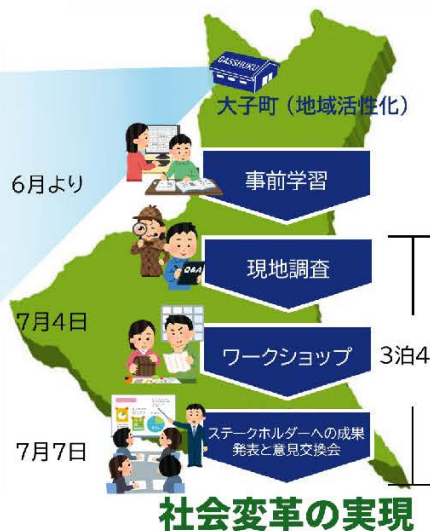
大子町GASSHUKU 地域活性化について



大子町 自治体の方々と一緒に考える！



パートナー



社会変革の実現



3つのグループのうち、観光をトピックに選び、全国からの旅行者を大子町にどう集めるか、という点について外国人のグループメイトと一緒に模索した。現地の色々な立場の人達とのインタビューを通して、新しい視点を得ることが出来た。



事前学習で大子町について勉強したが、実際の現地の状況を見て、思ったよりも悪くないんじゃないかと感じた。日本国内の社会問題について知り、SNSを通して何かサステナブルなことが出来ないか、解決策を模索するのはとても楽しかった。